



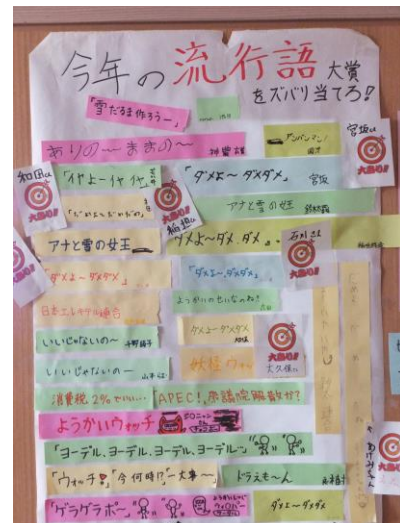
布施だより

《 年末の風景から ～ 2014 年が暮れようとしています ～ 》

朝な夕な、校舎を歩いていると掲示物から伝わってくる生徒諸君の息遣いや先生方の想いが伝わってきます。紹介します。

今年の「流行語大賞」発表を前に、「大賞をズバリ当てろ！」の掲示が 2014 年を振り返ってくれています。「ドラエもん」の後釜を狙っているという「妖怪ウォッチ」の歌詞が書かれていて、(♪ヨーデル、ヨーデル♪) と踊りたくなります。もちろん大賞のあの言葉も予想されています。そして「アナ雪」の文字を見ると「銀河祭」でのあのショックが蘇ってきます。その年の世相を反映している「言葉」を通じて、若い感性で 1 年間を振り返ろうとしています。

小黑板に、パワーあふれる言葉が毎日書かれています。この日に書かれて



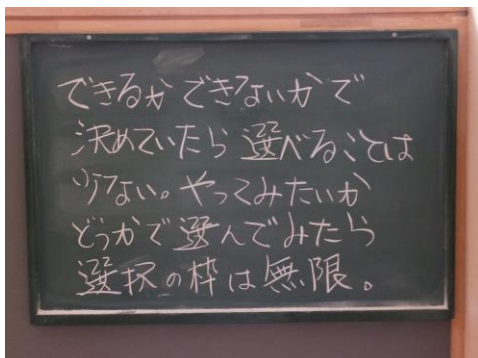
いた言葉が、「できるかできないかで決めていたら、選べることは少ない。やってみたいかどうかで選んでみたら、選択の幅は無限。」生徒たちは階段を上がりしな、昨日の自分からジャンプしようと言葉を口ずさんでいきます。

17・18 日 (水・木) と時ならぬ降雪に見舞われた玄関周辺では、朝早くから多数の生徒諸君が雪かきに精を出してくれています。湿った重い雪を、部活動に入る前の皆さんが汗をかきながらの雪はねです。生徒が登校する前に少しでも道をつけておこうと、先生方も暗いうちから、雪を片付けてくれています。昇降口前には、次第に道が広がり、雪の山がうずたかく形を作っていきます。

皆さん、ありがとうございます。

1 学年「総合的な学習の時間」

では、新聞を活用した自己課題の追究のまとめが行われています。新聞記事を通して「人の思い」に触れようとした追究の跡が廊下いっばいに貼り出されています。「御嶽山」の噴火の記事を取り上げながら、社会事象に触れ、エピソードから生き方を考える姿勢を育てています。



《 長野市教育委員会からのお知らせ 》

～ 「いじめ防止基本的方針」パブリックコメント募集・長野市活用問題調査の実施について ～

「いじめ防止等のための基本的な方針」（案）について ～ご意見を募集します～

長野市では、すべての子どもの安全・安心な教育環境を整備し、市民総ぐるみでいじめ防止等に向けた取組を推進していけるよう、「いじめ防止等のための基本的な方針」（案）を作成しました。今後、パブリックコメントを通じてお寄せいただいたご意見・ご提案を踏まえながら、「基本方針」を決定していく予定であります。下記の内容をご覧ください、ご意見・ご提案をお寄せいただければと存じます。

記

1 募集期間

平成 26 年 12 月 19 日（金）～平成 27 年 1 月 19 日（月）まで（消印有効）



2 基本方針（案）の閲覧場所、意見・提案用紙の配布窓口

学校教育課 行政資料コーナー（第一庁舎 1 階） 各支所 スクランブル広場（もんぜんぷら座 3 階）
市立長野図書館 市ホームページ（意見用紙のダウンロードもできます）

3 意見などの提出方法

所定の用紙に必要事項を記入の上、閲覧場所へ直接お持ちいただくか、郵送、ファックス、Eメールで学校教育課へご提出ください。

〒380-8512 長野市役所 FAX 224-5086 メール gakukyou@city.nagano.lg.jp

4 その他

- （1）意見記録の正確性を期すため、電話や口頭によるご意見などはお受けしません（自著が困難な人はお問い合わせください）。
- （2）ご意見などへの個別の回答は致しません。
- （3）ご意見・ご提案の基本方針（案）への反映状況は、市ホームページで公表します（個人情報を除く）。

＊ 本校の「いじめ防止マニュアル」をホームページに掲載します。こちらに関してもご意見ございましたら、中学校までご連絡ください。健全な社会生活を送る上で、この時期における人と人との関わりが大切な根幹になります。ご理解いただき、生徒ひとりひとりの成長に心寄せて目を通していただければ幸いです。

～ ～ ～ ～ ～

長野市活用問題調査の実施について（お願い）

師走の寒さはまた格別ですが、保護者の皆様にはますますご清栄のこととお喜申し上げます。

平素、長野市の中学校に格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、長野市教育委員会では、子どもたちが自立した 18 歳を目指し、グローバルな視野を持ちながら、ローカルに生きる力を高めていくために、学力保障の取組を実施しております。

学力に関して本市の中学生は、全体的な傾向として、基礎的な知識・技能を活用した思考、判断、表現する力に課題があることが明らかになっております。

そこで、本年度は、長野市独自に、活用問題を作成し、より詳細に調査分析することとしました。各学校では、この調査結果を大切に受けとめ、生徒の実態を把握して授業改善を行い、活用力を高めていきたいと考えております。

本取組の趣旨をご理解いただき、調査の実施にご協力をお願い申し上げます。

〈 実 施 概 要 〉

- | | |
|--------|---------------------|
| 1 調査名 | 長野市活用問題調査 |
| 2 実施期日 | 平成 27 年 1 月 9 日 (金) |
| 3 対象学年 | 中学校 2 年生 |
| 4 実施教科 | 国語・数学・英語 |
| 5 調査費用 | 長野市教育委員会 負担 |

【問合せ先】

長野市教育委員会 学校教育課
担当：勝野 学
電話 224-5063 FAX224-5086

～ ～ ～ ～ ～

3 学年諸君が、それぞれの進路実現に邁進しています。入試の面接練習のお手伝いをしながら、受験生へのエールを込めて、この時期になるといつも噛み締める一文があります。

高校へ入学すれば、あるいは新しい環境に入れば「何か」が自分を変えてくれると考えている人に言えることは、「何も変わらない。」ということです。同じ人間が高校へ入学しただけで、そんなに変わるものではありません。結局、誰か(高校)が変えてくれるのでなく、自分が自分を変えていくという強い意志以外にありません。ではどうすればいいのか。それは中学3年生の今の自分の生き方や考え方の中に答えがあるように思えます。

自分から起きもせず遅刻がちで、そして時間を守れない人が、今よりも通学距離が長くなった時にそれに堪えられるでしょうか。仲間に不愉快な言葉を平気で投げかけている人が、多くの他中学出身者とうまい人間関係が作れるのでしょうか。人任せで自分から確かめて行動しようとしないう人が、生徒の自己決定を尊重する高校の指導についていけるのでしょうか。学習意欲と地道な努力を置き忘れてしまった人が、内容量も速さも中学の3倍以上の高校の学習に堪えられるのでしょうか。なにもかも人の指示を待って動いてきた人が、自分で考えて行動することを支持されたら、そんな環境に堪えられるのでしょうか・・・。

皆さんが高校に対して夢や希望そして期待を抱くことは自由です。そして高校進学は決して損ではなく、高校には中学時代とは比べものにならないくらい幅広い友人関係が結べ、知的歓びを味わい、さらに自分で行動し自分を成長させてくれる「場」が用意されています。

答えは皆さん自身がその環境にどう立ち向かっていくかにあります。



思いっきり踏ん張れ！3 学年諸君。全校みんなで応援しています。